

小山工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	政治・経済	
科目基礎情報							
科目番号		0002		科目区分	一般 / 必修		
授業形態		講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科		建築学科		対象学年	2		
開設期		通年		週時間数	2		
教科書/教材		検定教科書 35 清水 政経306 『高等学校現代政治・経済 最新版』					
担当教員		土屋 政憲					
到達目標							
社会の基礎構造を理解し社会事象の意義を論理的に理解しかつ問題の抽出ができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		社会の基礎構造を論理的・比較的に説明できる。		社会の基礎構造を理解できる。		社会に基礎構造を理解していない。	
評価項目2		社会事象の意義を論理的に説明し、問題の抽出ができる。		社会事象の意義が理解できる。		社会事象の意義が理解できなり。	
評価項目3							
学科の到達目標項目との関係							
学習・教育到達度目標 ①							
教育方法等							
概要		学習指導要領準拠					
授業の進め方・方法		一方的口述のみならず、現代的トピックを取り上げ議論していく。					
注意点		沈黙は無知である。					
授業計画							
		週	授業内容			週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	民主政治の発展				
		2週	現代民主政治の展開				
		3週	日本国憲法の基本的性格				
		4週	日本国憲法と平和主義				
		5週	自由権				
		6週	平等権				
		7週	社会権				
		8週	まとめ				
	2ndQ	9週	新しい人権				
		10週	国会と内閣				
		11週	裁判所と裁判員制度				
		12週	地方自治				
		13週	政党政治と選挙制度				
		14週	国際連合と地域連合				
		15週	冷戦				
		16週	定期試験				
後期	3rdQ	1週	冷戦後の世界				
		2週	経済思想				
		3週	市場機構とそのはたらき				
		4週	金融政策				
		5週	日本経済のあゆみ				
		6週	IT 革命と知識集約型産業				
		7週	今日の雇用問題と労働条件				
		8週	まとめ				
	4thQ	9週	労働問題				
		10週	農業をめぐる問題				
		11週	社会保障の成立と進展				
		12週	国際分業と貿易の利益				
		13週	世界経済の課題				
		14週	世界経済の課題				
		15週	国際社会における日本の地位と役割				
		16週	定期試験				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標		到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	公民	民主政治の基本的原理、日本国憲法の成り立ちやその特性について理解できる。		3	
				資本主義経済の特質や財政・金融などの機能、経済面での政府の役割について理解できる。		3	

				現代社会の政治的・経済的諸課題、および公正な社会の実現に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	3	
			地歴・公民	今日の国際的な政治・経済の仕組みや、国家間の結びつきの現状とそのさまざまな背景について理解できる。	3	
				環境問題、資源・エネルギー問題、南北問題、人口・食糧問題といった地球的諸課題とその背景について理解できる。	3	
				国際平和・国際協力の推進、地球的諸課題の解決に向けた現在までの取り組みについて理解できる。	3	

評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	0	0	0	0	40	100
基礎的能力	60	0	0	0	0	40	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0